

NPOの発信する情報でもっとも先行、整理されているのが、代表吉田が書き、毎月1日に発信しているNPO公式メルマガです。多くの会員の方々に、興味を持って読んでいただくために、あえてここで再掲載します。

※このページは実際に発信しているメールマガジンの形式等を考慮して横書きでお届けしています。こちらからお読みください。
※募集等、期日が過ぎたものは削除しています。

**2024年11月1日発信分
きもの100年の大計!**

**NPOの立ち位置を
今一度ご認識ください**

いつもご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。多くの反応をいただけると、とても励みになります。本当にありがとうございます。特に、文化庁後援「親子ゆかた着付け体験教室」のアシスタントには、多数の和装家の皆さんからご応募をいただきまして、本当に嬉しく思っています。今回は、抽選ということになりましたが、貴重な体験をしていただけるものだと確信しております。

メールマガジンの前に、もう一度、当団体(NPO)について、ご説明申し上げます。正しいご理解をいただければ幸いです。私が今、代表を務める「NPOきものを世界遺産にするための全国会議」と多くの和装家の皆さまとお付き合いがある「日本和装ホールディングス株式会社」、ともに創業者が私(吉田重久)であることから、皆さん、同じ組織、関連組織だと誤解されている方が多くいらっしゃいます。再度、申し上げますが、両法人は、運営、役員構成など全く関係ありません。確かに、私が両方の組織の代表を務めていた時期もありましたが、現在では、私が日本和装ホールディングス及び同グループのすべての役員を退任した時点(2018年からグループの会長職、その後、2022年12月ですべての役職を辞任)で、全く関係のない組織となりました。もちろん同社(日本和装ホールディングス株式会社)も、他社様と同じように正会員の1社ではありません。

それから、私個人と同社との関係者ですが、いまでは一株主というだけの立場です。上場会社として求められている“経営”と“資本”の分離を完全に実現しています。つまり、私は、他の株主と同じように公開されている情報しか知りませんし、現経営陣とは特別な話もしていないのが実態です。つまり、全く違う組織であるということ認識していただきたいと願っています。



今、NPOにとって最も重要なのは、「和装家」の皆さんです。アンケートの結果にもありました、現在は和装家の80%以上の方が「日本和装の着付け教室出身者」です。その和装家の集まりも徐々に広がっており、SNSでもご覧いただいている方も多いため、銀座をジャックしての写真撮影会(上野きもの世界遺産アンバサダー発案)、WAKATOMO会(日置会長)など、きものを着て楽しむ会を多くの有志が集って開催しています。

そもそもですが、このNPOの目的は、団体の名前の通り、「きものを世界遺産にするための活動」です。同WAKATOMO会もその一環なのです。きものが世界遺産になれば、和食のように「着物」が更に見直され、大ブームが再び訪れるはずだと、3,500名を超える和装家の皆さんをはじめ、NPO活動の趣旨にご賛同いただいている正会員、賛助会員の皆さんと一緒に、その実現に向けて努力を続けてしています。“きもの100年の大計”だと思っております。目先の1年、2年ではなく100年の計りごとです!そうして世の中を動かしたくないですか?



文化庁後援事業「親子ゆかた着付け体験教室」受講者募集

お孫さんとお祖母様もOKです。11月17日(日)名古屋にて開催します。ゆかたは文化

庁の予算によりプレゼントです。まだ余裕がありますので、是非、お申し込みください。→和装家の皆様のご協力で大成功でした(本誌10pで紹介)

**2024年12月1日発信分
会員の皆さまお祝い!**

いま当NPOでは、四季誌「和装家」新年号の編集に追われています。あれや、これや、とアイデアが先行してしまい、編集長から「新しいアイデアは、しばらくストップ!」という厳しい号令が出てしまいました。これからは、しばらくじっくりと地上戦で行く!という彼の方針です。つまり、いままでお知らせした企画をしっかりとやろう!という号令です。しかし、どうしてもアイデアが先行してしまうのが、私の悪い癖です。しっかりと地上戦(しっかりと実施する)で、すべて実現させたいと思っています。

ご担当者へメルマガをお届けしたい

それから、重要なお知らせとお願いです。正会員、賛助会員の皆様にお願ひがあります。それは、このメールマガジンの送信先(追加)をお知らせください。つまり、正会員、賛助会員の皆さんへも送らせていただいておりますが、会社様の代表アドレス(例/info@xxx)にしが届いていない場合があります。その為、ご担当者様まで届いていないケースも多々あるようですので、追加のメールアドレス(ご担当者様)をお知らせいただくと幸いです。info@omotenashi.or.jp までお知らせください。また、このメールマガジンはLINEでも配信しています。

11年目の超レビュー

当NPOの活動の歴史を示すパンフレット(11年目の超レビュー)を制作(=情報更新)しました。この印刷物をご希望の方は、info@omotenashi.or.jpまでお知らせください。お一人様10部まで送料500円を含み、3,500円(寄付金扱い)でお届けします。認定NPO法人申請のためにご協力く

ださい。
*この申請には3,000円以上の寄付者200名/年が必須です。

四季誌「和装家」新年号表紙

奇跡が起きました!四季誌「和装家」新年号の表紙に田中一村氏の有名作の掲載が許可されました。これには、肥後社長率いる大島絨美術館さんの強いお力添えで、著作権者から正式に許可をいただきました。新年号の表紙は、あの有名日本画家の田中一村氏の代表作(アダンの海辺)です。このデータは、著作権を管理している日本経済新聞社経由で取得します。

和装家レポート大募集

四季誌「和装家」の新年号に「和装家レポート・パルtoon社を訪問しました!」を掲載予定です。このようなレポートを大募集しています。正会員、賛助会員の皆さんのイベントなどに参加された場合など、是非、生の声を聞かせてください。レポートは、編集部で確認させていただきます。応募は、info@omotenashi.or.jp まで。写真を添えてレポートをお送りください。

人間国宝 大倉源次郎氏からのお誘い

私が個人的に付き合いがある、人間国宝の指定を受けた能楽小鼓方の大倉源次郎氏から大阪万博を、きもの姿で埋めつくしたいので、協力して欲しいという要請を受けました。対象期間は、6月3日~6月9日ですが、6月3日、6月4日に集中させて欲しいという意向です。詳しいことについては、大倉氏を交



えて12月2日(月)にオンライン会議を予定しており、四季誌「和装家」や、このメールマガジンでお知らせします。きものを世界遺産にするための活動の一つです。是非、協力してください。人間国宝からの呼びかけですので、取材陣も多く来ると予想しています。

Vietnamの施設紹介

ホーチミン市から30キロほどのところに、「ベトナム・ジャパンフレンドシップハウス」が完成間近です。下記は、NPOホーチミン事務所の藤井健太郎理事からの報告です。この施設は、ベトナムの不動産大手ナムロングループが主体で、阪急阪神不動産さんや西日本鉄道さんとの提携で進められているロンアン省のウォーターポイント都市開発プロジェクトの一環で作られたものです。大和ハウスさん、住友林業さん、日立物流さんなどもこのプロジェクトに関わっているようです。施設内には、日本らしい庭や畳のある和室、越日文化を紹介するスペースなどがあ



て、日本企業の協力が感じられる作りです。今回は展示スペースの視察に行きました。が、せっくなので衣桁や撞木を持ち込んで仮展示してみたところ、担当ディレクターさんにとっても喜んでもらえました。12月中旬から本格的に展示が始まる予定です。今回の展示は、アオザイミュージアムの館長さんがNPOを紹介してくれたおかげで実現しました。こんな大きなプロジェクトに関わることができるとは思っていませんでした。展示にはNPOの名前を掲示する予定です。写真をご覧ください。

今月号もお付き合いいただきまして、ありがとうございました。今年のメールマガジンは、これで最終です。どうか、良いお年をお迎えください。私の年末年始は、「男ひとり旅」を11日間クルーズ船に乗って新年を迎える予定です。船内でのドレスコードは、もちろん着物です。「紋付」を袴を付けずに羽織りと一緒に着たいと思っています。このメールマガジンの新年号(1月1日配信予定)でご報告します。それでは、みなさん、来年度もよろしくお願ひします。

東京都認証特定非営利活動法人
NPOきものを世界遺産にするための全国会議
理事長(議長) 吉田重久
<https://omotenashi.or.jp> (おもてなし.or.jp)
shigehisayoshida@gmail.com

寄付金の受付口座番号

- クレジットカード
- 三井住友銀行
東京中央支店(支店番号 015)
普通預金 口座番号 8905660
名義人 トクヒ)キモノオセカイサンニ
スルタメノゼンコクカイギ
- ゆうちょ銀行
店名 (019)ゼロイチキョウ
当座預金 口座番号 0364795
名義人 トクヒ)キモノヲセカイサンニ
スルタメノゼンコクカイギ